

東やまと 社協



手話言語法と地域の取り組み

わが国では、障害者基本法の一部を改正する法律の中で「言語(手話を含む)」と定義されています。手話を、公の場面のみならず、地域の様々な場面で自然に活用されるコミュニケーションとして普及できるよう、手話言語法の制定を目指しています。



「しゃきょうのたまちゃん」

Spring. 2019 NO. 218
2019.4.15発行 社協だより

発行者/社会福祉法人東大和市社会福祉協議会
〒207-0015 東大和市中中央3-912-3
TEL:042-564-0012 FAX:042-564-3680
https://www.higashiyamatoshakyou.or.jp/

特集

手話を知ろう～手話をもっと身近に～

- ・聞こえない人を取り巻く環境
- ・いまこそ手話を～手話講習会のご案内～

【その他の記事】

- ・シリーズ見守り・声かけ20年……………P3
 - ・ボランティア募集……………P3
 - ・社協からのお知らせ……………P4
- 歩こう会、あんしん東大和専門相談など

イベント・講習会のご案内

■成年後見専門相談
成年後見制度や遺言・相続の手続きなどの疑問について、司法書士が無料でお答えします。
日時 4月25日(木) 6月27日(木) 8月22日(木) 9月26日(木)
13時30分～16時15分(1件45分)
※両相談共通 10月以降も開催を予定しています。相談は予約制です。事前に相談の概要を伺います。
場所 東大和市社会福祉協議会 会議室

申込み あんしん東大和
TEL 042-590-0018
FAX 042-564-3680

■ふくし法律相談
日常生活の中で困ったことや法律的な解決が必要なことなど、弁護士が無料でお答えします。
日時 5月23日(木) 7月25日(木) 9月26日(木)
13時30分～16時15分(1件45分)
※両相談共通 10月以降も開催を予定しています。相談は予約制です。事前に相談の概要を伺います。
場所 東大和市社会福祉協議会 会議室

申込み あんしん東大和
TEL 042-590-0018
FAX 042-564-3680

◆ふれあい歩こう会(春)
今年も、ふれあい歩こう会(春)を次のとおり実施いたします。体力などに応じてお好きなコースにご参加ください。爽やかな初夏のひとときと一緒に楽しんでみませんか。
対象 市内に在住で、65歳以上の方
日時 5月23日(木)
集合 東大和市ロンド桜が丘
フィールド
受付 9時～9時30分
コース ①一般コース 約7km
②健脚コース 約6km
③行先野火止用水ふれあい橋
④のんびりコース 約3.2km
⑤行先東大和南公園周辺
※参加証をお持ちの方は、ご持参ください。
・終了後、集合場所でおにぎりを配りいたします。
申込み 5月14日(火)までにお電話ください。
※老人クラブ会員の方は、会長を通じてお申し込みください。

※事前に申し込みされていない方にはおにぎりは配付できませんのでご注意ください。
TEL 042-564-0035
東大和ボランティア・市民活動センター(社会福祉協議会内)

傾聴ボランティア養成講座
傾聴ボランティア養成講座を開催いたします。施設や高齢者宅で傾聴の活動を行ってみたい方、傾聴に関心がある方、傾聴について学んでみませんか。
日時 6月19日(水)～7月17日(水) 毎週水曜日(全5回) + 別日で現場実習 13時30分～16時
会場 社会福祉協議会
要件 全5回出席できる方。講座修了後にボランティア活動できる方。
費用 3,500円
申込み 21名
TEL 042-564-0035
東大和ボランティア・市民活動センター(社会福祉協議会内)

第1回『さわやか講座』
日時 平成31年5月28日(火) 13時30分～17時
内容 講話(高齢者の理解・保育の理解・支援を円滑に行うために)など
場所 社会福祉協議会会議室
申込み 5月22日(水)まで



TEL 042-567-0013
さわやかサービス担当
さわやかサービスは有償の支援活動です。
活動内容は、高齢者等障害者、病人を含むの支援としての家事援助や、小学校6年生までのお子さんの後の家庭の子育て支援、また産前産後の方のあるご家庭への家事援助等です。
さわやかサービスでは、協会員を大募集しています。ご自身の生活のなかの空いた時間を使って、地域の方をサポートする活動に参加しませんか?
協会員として登録するためには、さわやか講座の受講が必要です。協会員になることを希望される方、さわやかサービスに関心のある方、ご自分のために勉強したい方など、ぜひさわやか講座にご参加ください。
1時間の活動で900円～1100円の謝礼をお支払しますがお仕事ではありませんので、決まった額の収入を見込めるものではありません。
第42回福祉協賛企業募金
福祉に対する理解の向上と啓発などを目的に毎年、11月2日(日)に福祉祭を開催しています。
毎年、たいへん多くの市民の皆さまに参加いただき、盛大に開催されています。
福祉祭をさらに盛り上げ、市民にとって活気があり、魅力的なお祭りとするために、地域の企業、商店の皆さまからの協賛金を募集します。
企業等の社会貢献活動としてご協力いただけますよう、ぜひご検討ください。
協賛金 1口 5,000円(1口10口可)
申込み 7月31日(水)まで
特典 当会広報紙等への掲載、福祉祭当日、企業名等のアナウンス等。
※詳細につきましては、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

ファミリー・サポート・センター事業開始
4月1日より、さわやかサービスを当市のファミリー・サポート・センター事業に位置づけ、事業の拡充を図っていくことになりました。
協会員と利用会員による、子どものあそびや送迎、高齢者への支援等の相互援助活動は、これまでとおり愛称を「さわやかサービス」とします。さらに今後は、子育て支援に関わる相談支援の充実や、地域のネットワーク化、虐待防止の推進等を図っていきます。
料金や利用の仕組み等については、従来と変更はありません。(当会ホームページ参照)
この機会にぜひ、ご利用してみたいかがでしょうか。

平成31年度事業計画と予算
社会福祉協議会では、31年度予算と事業計画が決定しました。詳細はホームページをご覧ください。
(事業活動による収支)
収入 2億2,551万1千円
支出 2億2,368万3千円
(特に重点的に取り組む活動)
1. ファミリーサポートセンター事業
2. 生活支援コーディネーター事業
3. 地域生活支援センター事業
4. ボランティア・市民活動センター事業
5. 経営の安定化、財源確保

事務局人事異動
新任 事務局次長 尾又 秀夫
事務局次長 尾又 秀夫
退職 事務局次長 柚木 行夫
(3月31日付)

善意のご寄付
次の方々から善意のご寄付がありました。厚くお礼申し上げます。
(敬称略・順不同・単位:円)
(平成30年12月28日～31年3月31日受領分)

お名前	金額
ちびやクリーニング従業員一同	5,170
東大和市テニス連盟	8,330
中央キリスト福音教会	20,000
株式会社カワサキ	10,000
東大和武蔵村山社会福祉会	11,762
芋窪西自治会第九区資源回収部	10,000
泉くらぶ	3,556
東京土建一般労働組合山田支部	50,000
森の風接骨院	10,600
社協職員有志	2,912
社協窓口募金	3,635
店内募金(23店)	32,114
その他匿名2件	110,000
合計	278,079

地元だからその「安心」と「信頼」
とみん葬祭
直葬 15万円(税別)
家族葬 25万円(税別)
東大和市民葬儀指定業者
0120-594-419
24時間年中無休
本社:東大和市清原2-1279-7

生前契約
(家族の代わり)
葬儀手配・各種解約
相談 無料
事務を代行します。
行政書士赤門法律事務所
042-590-2202
東大和中央4-965-215(中央通り沿い)

訪問・在宅カット承ります!
全国介護美容福祉協会会員の店
お一人でお出が困難な方
ご自宅に訪問致します
カット料金 ¥2,700(税込)
美容室くるくるへあー
奈良橋2-603-1103
042-563-8699

補聴器
認定補聴器専門店
久米川補聴器専門店
サントタイム
出張相談承ります
メーカー各種取扱
0120-51-4133
久米川駅南口徒歩1分 東村山市栄町2-21-3
木曜日定休 駐車場ご案内します。

東京都福祉人材センター 多摩支所
●開所日:月曜日～金曜日
●開所時間:9:00～17:00
(相談受付時間 9:00～11:30、13:00～17:00)
●休業日:土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29～1/3)
〒190-0012 東京都立川市曙町2-34-13
オリンピック第3ビル7階
TEL.042-595-8422
FAX.042-595-8432

はじめての **サクソ**
火曜日15:30 水曜日18:00
500円×6回=¥3,000
ワンコインレッスン 楽器レンタル有り
※6回が1セットです。 詳細 TEL 042-393-4515
ムラコシ楽器店 東村山市本町3-7-9 駐車場20台有

平成31年度 手話講習会参加者募集

クラス	初級	中級	上級
時間	各級とも昼クラス(午前9時30分～11時30分)と夜クラス(午後7時～9時)あり		
回数	開講式+全38回(講演会・合同交流発表会を含む)		
開催日	5月22日～3月11日 毎週水曜日	5月23日～3月12日 毎週木曜日	5月24日～3月13日 毎週金曜日
	※5月15日(水)は合同開講式を行います(昼クラス:午前9時30分・夜クラス:午後7時からの約1時間半) 【講演会や合同交流発表会は曜日や時間が変わることもあります。】		
場所	社会福祉協議会他		
定員	各クラス30名		
対象	平成15年4月1日以前に生まれた方で、市内在住・在勤・在学の方	初級を修了した市内在住・在勤・在学の方	中級を修了した市内在住・在勤・在学の方
費用 (テキスト・資料代込み)	社協会員：5,400円 非会員：5,940円	社協会員：2,160円 非会員：2,700円	社協会員：3,660円 非会員：4,200円
申込み	<p>★当会ホームページから申し込み、もしくは、申込用紙に必要事項をご記入の上、当会へ郵送・FAXまたは窓口へ持参してください。(チラシ兼申込用紙を市内公民館等に設置してあります。)</p> <p>★4月24日(水)必着(申込み多数の場合は抽選)</p> <p>※必要に応じて面接を行う場合があります。</p> <p>★募集要項を必ずご確認ください。</p> <p>(お問い合わせ) 電話：042-564-0012 FAX：042-564-3680</p>		


お子様を連れての受講はできません。



座談会を終えて
4名の方々のお話はたいへん盛り上がり、それぞれに新たな発見があったり、お互いの思いを共有することができました。
手話を覚えることは決して特別なことではないようです。手話＝通訳↓「難しいこと」と思われがちですが、簡単な会話やあいさつができること、それが大切なのです。
「東大和の手話人口が増えること」これが大きな目標です。手話人口の多いまち「東大和」を一緒に目指しませんか。
今がチャンス、ぜひ一緒に手話を学び、いや、手話を楽しみましょう。(認知症予防にもなりそうですよ。)

もっと身近に手話を体験
～東大和市の手話サークルの紹介～

【手話サークル ビーナッツ】
毎週火曜日、中央公民館で活動中！
聴覚障がい者と交流し、共に活動する中で、文化、生活などの理解を深めています。
手話に興味のある方なら、どなたでも参加できます。



シリーズ 見守り・声かけ20年
見守り・声かけ協力員になって

桜が丘3丁目担当 山田 みさよ

※山田さんは、協力員として孤独死やそれを未然に防ぐような対応を数回体験されました。それらの経験をともに、現在では二人暮らしの姿を立ち上げ、新たな形であらゆる見守りの輪を広げています。

私と社協の関わりは、たしか平成になってすぐだと思っています。二級ヘルパーの資格も取らせていただきました。
平成9年に永年つれそつた主人を見送り、勤めていた病院も退職し、本格的にボランティアに取り組みしました。ヘルパーとして担当の家庭をまわり、社協のお弁当の配達もしました。
平成9年に南郷・中央地区で見守り・声かけ活動がはじまり、平成11年には桜が丘地区でも活動がはじまりました。最初は協力員の人数もあまりいなかったと思います。桜が丘16、17号棟では協力員は私人で、対象者数名を担当しました。都営住宅の建て替えで引越してきた人が多く、声かけ活動の様子も戸建ての地域とは違いました。玄関先での安否確認ではなく、お茶を飲みながら前の団地で思い出話や困っていること、身体の具合はどうか等話します。社協の見守り・声かけ活動の方針とは違うところもあると思いますが、私はいつもこの方法で対象者の方と話し合ってきました。
平成20年に団地で2件の孤独死があり、それをきっかけに自治会に働きかけ、ひとり暮らしの会を立ち上げました。私たち高齢者は健康に對してすこく関心がありますので、市報や新聞、雑誌の記事を参考に、図書館でも調べ、まず一番関心のある認知症について資料を作り、コピーして集まった人に配布し、話し合いました。熱中症、インフルエンザ、介護保険等制度に関する話、友人による紙芝居や手品の披露、ギターで歌を唄い、踊りを見学し、その後お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせています。
平成23年の東日本大震災後、消防署の方に来ていただき、地震に対する心がまえとして、まず自分が助かる、次に友を助け、公の救助を待つという「自助、共助、公助」についてしっかり教わりました。警察署による「ひびたくり」や「振り込め詐欺」防止についても話していただきました。
20年近く活動してきましたが、数名いた対象者も年をとり、一人では暮らせなくなり、子どもとどこに引き取られたり、止らなくなったり、施設に入ったりと淋しい限りです。しかし、相手の心の中に飛び込んでじっくりと話を聴き、共に泣き、共に笑いながら見守り・声かけ活動をこれからもがんばります。
高齢社会に向かっている現在、社協の見守り・声かけ活動はますます地域にとって重要になります。
私自身一日一読 十笑百吸 千字万歩を目標に今日も元気に頑張ります。

訪ねゆく 友の笑顔に 心ほっこり
誰のため 自分のためです 声かけは

手話は言語であるという理解が広がっています。

聞こえる人たちが、あらゆる生活の場面で日本語の音声言語を使って暮らしているように、手話を言語として使っている聞こえない方たちも、あらゆる場面で手話を使って暮らせる社会をと願っています。特別なことではありません「手話であいさつができる。」それが大切です。
手話とは…、聞こえないことへの理解とは…。そのヒントを探るため「聞こえない方」「通訳者として携わる方」「手話を学び始めた方」というそれぞれの立場で手話に関わっている4名の方々にお話を伺いました。

「聴覚障がい者を取り巻く環境
細田 私は東大和に引っ越してきた約30年前は、手話ができる人は本当に少数でしたが、今は街でも手話ができる人が増え、私たちはコミュニケーションについて安心できるようにになりました。
「手話ができる人が増えていると感じている？」
細田 今は病院でも、お店でもできる人が増えました。「ありがとうございます」とか簡単な手話だけでもできる人は多いです。最近美容室で美容師さんと鏡越しにお話を楽しんでいます。
杉浦 私が手話を始めたのは30年前。引越して来たばかりの細田さんと知り合いました。そのころは通訳の制度もなく、ちょっと呼ばれて通訳するという感じでした。当時は手話をやっていると思わなかった。見られませんでした。今はそれは感じません。
「通訳はボランティアだった？」
杉浦 今でもボランティアとしての活動はあります。しかし聞



細田恵子さん
4歳で失聴。現在手話講習会講師やサロン活動など多様な活動を通じ普及に尽力。

聞こえない人の権利を守る意味での手話通訳者派遣制度が次第に整備されてきました。
「最近手話を始めた方から見て手話の印象は？」
宇都宮 私は2年前、災害ボランティアセンター訓練で細田さんと会ったのがきっかけでした。そのとき聞こえない人とのコミュニケーションの方法のひとつとして手話の大切さを体感しました。今は講演やイベントで手話がつくのがあたりまえで、裾野が広がったように思います。
坂本 私の子どもは手話を目にする機会自体がありませんでした。以前専門学校に通っていた際、手話を勉強しているクラスがあり、その風景を見て初めて「手話は勉強するものなんだ」と認識しました。
「聞こえないということ」
細田 手話が広がったとはいえず、まだまだ理解が足りないと感じることがあります。手話ができない場合筆談できればよいと考える人も多いでしょう。テレビも字幕が増えました。しかし聞こえない人は、速くついでに聞かない人は、意味をつかめない人も多いです。
杉浦 今でもボランティアとしての活動はあります。しかし聞

「手話だけでなく、聞こえないことへの理解も大切」
細田 誰しも年をとれば耳が遠くなります。自分の声が大きくなり、だんだん声が大きくなり、聴覚障がいといっても、聴力を失った年齢や育った環境背景で一人ひとり違います。その人の背景を知ることが大切で、それによってコミュニケーションがスムーズになります。
手話通訳を目指さなければいけない？
細田 私たちにとって手話通訳者とはとても大切です。100%伝える努力をしてくれれます。文字だけでは伝わらない雰囲気なども伝えてくれます。病院や裁判など専門的な場面での通訳は、ある意味「命を預ける」思いです。
杉浦 私は母と同居しています。高齢で耳が遠くなりました。しかし正面からはっきり口をあけて話せば伝わります。そういったコミュニケーションは手話を通じて学びました。今、私自身、学んでよかったです。
坂本 私は母と同居しています。高齢で耳が遠くなりました。しかし正面からはっきり口をあけて話せば伝わります。そういったコミュニケーションは手話を通じて学びました。今、私自身、学んでよかったです。
坂本 現在通訳者が増えるのは歓迎ですが、今から通訳まで目指さなくては手話ができる市民を増やすことがより大切です。
今は「手話ができる人がいるから」とお店を選んでいますが、本当はどこにでも手話ができる人がいて、好きなお店を選ぶことができるほうがいいわけです。
杉浦 手話通訳者が増えるのは歓迎ですが、今から通訳まで目指さなくては手話ができる市民を増やすことがより大切です。
今は「手話ができる人がいるから」とお店を選んでいますが、本当はどこにでも手話ができる人がいて、好きなお店を選ぶことができるほうがいいわけです。



坂本聡子さん(左) 宇都宮礼子さん(右)
平成30年度手話講習会初級修了生。それぞれの思いを胸に手話にチャレンジ

ボランティア・市民活動センターより

ボランティア募集

○高齢者施設でのボランティア
市内の高齢者施設「ヒューマン・ケア 東大和」では、下記内容のボランティアを募集しています。

<内容>
・将棋、囲碁の相手 ・園芸 ・音楽(ダンスや舞踊、演奏など)
※日時や活動内容について相談に応じます。
【お問合せ】ヒューマン・ケア 東大和(蔵敷) 担当:石垣
TEL:042-590-1311 FAX:042-562-2078

ボランティア募集

○高齢者施設でのボランティア
市内の高齢者施設、「いでしたリハビリステーション 上北台」では、下記内容のボランティアを募集しています。

<内容>
・リハビリ補助・囲碁、将棋の相手・レクリエーション・カラオケ相手・お話し相手
※日時や活動内容については相談に応じます。
【お問合せ】いでしたリハビリステーション 上北台 担当:横山
TEL:042-843-5103 FAX:042-843-5104

ボランティア募集

○子どもと関わるボランティア
東大和ボランティア・市民活動センターでは、子どもの見守りや、遊び相手をしてくださるボランティアを募集しています。子ども好きな方、ぜひ活動していただませんか。
※センターに活動依頼があり次第、ボランティアさんにお声かけいたします。
【お問合せ】
東大和ボランティア・市民活動センター 担当:山崎
TEL:042-564-0035

ご案内

ボランティア保険の加入はお済みですか?活動をされている方は、ボランティア保険に加入することをおすすめいたします。
ボランティア保険は年度ごとに加入が必要です。2019年度分の加入を窓口で受付しておりますので、お済みでない方は早めの手続きをお願いいたします。
ボランティア保険についてご不明な点がございましたら、東大和ボランティア・市民活動センターまでお問合せください。
【お問合せ】
東大和ボランティア・市民活動センター TEL:042-564-0035

「お二人は通訳を目指す？」
宇都宮 手話は言語という原点を大切にしなければいけないと思います。ただ、入り口については、あまりハードルが高いと広がりを欠いてしまいます。まずは「遊び」感覚でスタートできると思います。
私も小学生の子どもがいます。小さいうちから自然に手話に接する環境があればいいと思います。
坂本 まだ現実に通訳者を目指す段階ではありません。初級からそこまで考えず、やってみよう中、近づくことができたかと思っています。
杉浦 手話通訳者が増えるのは歓迎ですが、今から通訳まで目指さなくては手話ができる市民を増やすことがより大切です。
今は「手話ができる人がいるから」とお店を選んでいますが、本当はどこにでも手話ができる人がいて、好きなお店を選ぶことができるほうがいいわけです。



細田 福くん
7歳。聴導犬として活動する細田さんのパートナー

「これから学ぶ人へ」
宇都宮 聞こえない人だけではなく、自らの意思を伝えられないという点では、認知症や他の障がいにも共通します。手話を通じて、それらの理解の入り口に立つことができると思います。
坂本 「手話は難しい」「自分には関係ない」という人も多いかもしれませんが、でも手話を通じて自分の世界も広がります。決して関係ないことではありません。知って損はありません。
杉浦 手話の「副産物」としてまず「認知症予防」になります！(笑)
手を動かし、表情を豊かにして頭はフル回転。また費用もテキスト代くらいで、こんなに安く学べてお友達も増えて、いいことづくめです。
細田 通訳者の杉浦さんを見てください。若く見えますよね。何歳?
杉浦 もうすぐ70歳!(笑)
細田 手話を覚えるのは少し大変ですが、脳が活性化されてとてもいいですよ!
杉浦 ぜひお友達と一緒に学んでください。私は30年、友人とともに学び、活動してきました。そうでなければ今ありません。励ましあえる仲間と一緒に楽しく学んでください。